

健全な企業ガバナンスのもと 安全最優先と顧客第一の JR 東日本を創り出す院内集会

「公益性のある事業」としてどうあるべきか考えよう！

- 決められたルールを逸脱してデータを改ざん！
独自基準で「安全性に問題ない」とし自浄作用も封殺！？
- 地域・利用者、交通弱者、現場の声を軽視し
安全性よりも生産性向上と利益の最大化を優先！？
- 利用者へも還元されない鉄道事業収入の行方は！？

3月13日(木)14時30分～

衆議院第一議員会館 多目的ホール



私たちは快適で利用しやすい
鉄道の運行を求めています

最近のJR 東日本は

ぜひ、皆さんの声を私たちにお寄せください
右記二次元コードから ▶



おかしくありませんか？

安全も公益も
利用者の声も
現場の悲鳴も

すべて

軽視!?

JR 東日本の首都圏におけるワンマン運転計画線区
(中編成ワンマン・長編成ワンマン)



世界有数の 1000 万人都市で

異常時を想定しないワンマン運転化

JR 東日本では、首都圏の主要線区でも車掌を廃し、運転士のみが乗務するワンマン運転化が始められようとしています。また、駅でも終日または一部時間帯における無人化が進められており、通常の安全・安定輸送だけでなく、大規模災害やテロ等へ備えた要員の配置とはかけ離れています。そして、12両編成の中央快速線、最大15両編成の上野東京ラインや湘南新宿ライン(直通先含む)を含むJR 東日本の全線についてワンマン運転化の検討が始められています。

輪軸圧入データの改ざん・隠ぺい

モーターの不正検査・省令違反 相次ぐ不正は自浄作用が機能不全に陥った結果

現場・組合から「改ざん・隠ぺいをやめるべき」と指摘を受けていた JR 東日本の“車輪と車軸の組立作業時の不正行為”は、国土交通省による特別保安監査まで行われ、定例会見にて喜勢陽一社長が「鉄道のプロフェッショナルとして過信があった」と謝罪。しかし、その後もモーターの不正検査が発覚するなど、信頼の低下に歯止めがかかりません。



「みどり窓口」

削減計画の一時凍結



「週末パス」など

お得なきっぷの一部廃止



「運賃の見直し」

企業ガバナンスの低下が安全と信頼を揺るがし

ステークホルダーへの不均衡な利害を生んでいませんか？